

禁止行為解除承認申請書

年 月 日						
(あて先) 新潟市消防長						
申請者 住 所 (電話番号) 氏 名						
新潟市火災予防条例第 2 3 条第 1 項の規定による指定場所の禁止行為について、 解除の承認を受けたいので下記により申請します。						
記						
防 火	所 在 地	新潟市 T E L ー				
対 象 物	名 称		構 造		用 途	
解 除 承 認 を 受 け る 場 所	階			階 の 用 途		
	名 称			場 所 の 用 途		
	内 部 仕 上					
解 除 承 認 を 受 け る 行 為	種 類	喫 煙 裸 火 使 用 危 険 物 品 持 込 み				
	期 間	年 月 日 から 年 月 日 まで				
	内 容					
	理 由					
火 災 予 防 上 講 じ た 措 置						
上記承認する。 ただし、解除承認の基準に適合しなくなった場合等は、承認を取消することがあります。						
第 号 年 月 日 新潟市消防長 印						

備考 承認申請場所の存する階の平面図（消防用設備等の設置箇所が明示されたもの）、使用する設備、器具の仕様、危険物品の種別、数量、貯蔵取扱い方法等の図書を添付すること。

【禁止行為解除承認申請書記入要領】

項 目		記 入 要 領
年 月 日		消防署に申請書を提出する年月日を記入します。
申 請 者		禁止行為を行う指定場所を有する防火対象物（建物）の所有者・防火管理者等責任が明確な者の、住所、氏名、電話番号を記入します（法人の場合は、法人の住所、名称及び代表者の職・氏名・電話番号を記入します。）。
防火対象物	所 在 地	禁止行為を行う指定場所を有する防火対象物（建物）の所在地及び電話番号を記入します。
	名 称	防火対象物（建物）の名称を記入します。例：〇〇ビル
	構 造	申請する防火対象物（建物）の構造を記入します。 例：耐火構造，準耐火構造，その他造等
	用 途	防火対象物（建物）全体の用途を記入します。 例：劇場，ホテル，飲食店，展示場，百貨店，複合用途（用途が混在している建物）等
と解除承認を受けようとする場所	階 階 の 用 途	申請場所の階及び用途を記入します。
	名 称	防火対象物（建物）内のどこの場所であるか特定できる名称等を記入します。
	場所の用途	申請場所の実態用途を記入します。 例：舞台，大道具室，売場，加工場等
	内 部 仕 上	申請場所の内部仕上げ 例：不燃仕上，準不燃仕上
る解除承認を受けようとする行為	種 類	解除承認を必要とする禁止行為の種類を○で囲みます。
	期 間	解除承認を必要とする期間を記入します。 恒常的な行為で期間のない場合は，開始日のみ記入します。
	内 容	行為内容を具体的に簡記します。 内容が複雑なものは別紙等に記載します。 例：第２幕で火薬（〇〇）を使用し，爆発音を出す。 例：調理用ガスコンロの使用 【恒常的な行為に係る解除承認申請】
	理 由	解除承認を必要とする理由を具体的に記入します。 例：演劇の演出効果をあげる為，客に対するサービスの為
火 災 予 防 上 講 じ た 措 置		解除承認を受けようとする行為に対して火災予防上講じた内容を記入します。内容の多いものは，別紙等に記載します。 例：消火器（〇型）〇本と消火係〇名を舞台両袖に配置する。 自衛消防隊が屋内消火栓のホースを延長し，待機する。 不燃材を床に敷く。